



## Ivan E. Sutherland

(1. 1983年受賞)



- 1938年アメリカ生まれ
- CGの生みの親
  - MITでSketchPadを開発 (1962:これがCGの始めとされている)
  - 高速三次元表示装置 LDS-1を開発
- 1988年度のチューリング賞を受賞



Ivan E. Sutherland



## Pierre Bezier

(2. 1985年受賞)



- Bezier曲線を提案
- フランスの数学者
  - 1910年生まれ
  - 1933年ルノーに入社
- 車のデザインをCADで行うシステムを構築
  - 自由曲線制御手法を提案



Pierre Bezier

P. E. Bezier and S. Sioussiou  
 "Semi-automatic system for defining free-form curves and surfaces"  
 Computer-Aided Design, Vol. 15, pp. 65-72, 1983.



## Donald P. Greenberg

(3. 1987年受賞)



- コーネル大教授
- 陰面消去アルゴリズム・モデリング・色・リアルな画像生成など・・・
- 1971年にムービー"Cornell in Perspective"を作成
- 論文誌に多数の記事を執筆 (世界最多)
- 最初?のRadiosity法の論文(1985)の共著者



Donald P. Greenberg



## David C. Evans

(4. 1989年受賞)



- 元ユタ大学の教授
- Evans & Sutherland社設立 (1968)
  - シミュレーション・訓練・設計のためのリアルな画像生成のためのソフトウェア・ハードウェアを作る会社を設立



David C. Evans



## Andries van Dam

(5. 1991年受賞)



- ブラウン大学教授
- “コンピュータグラフィックス理論と実践”の著者
- CG、テキスト処理、ハイパーメディアシステム
- 教育と研究に使える電子的な書籍をつくり、読むためのシステムの構築



Andries van Dam



## Ed Catmull

(6. 1993年受賞)



- Pixar社社長 ピクサー アニメーション スタジオ
- ユタ大学卒
- Zバッファ法開発者(1974)
- CG・ビデオ製作・ゲーム・デジタルオーディオで活躍
- アニメーションの世界で数多くの賞を受賞



Ed Catmull

– 2004 Ub Iwerks Award  
 『トイ・ストーリー』をはじめ『モンスターズ・インク』  
 『ファインディング・ニモ』など

Coons Award **Jose Luis Encarnacao** (7. 1995年受賞) SIGGRAPH2005


- ドイツ 教授
- CGを使い幅広い分野でリーダーとして活躍
  - 産業
  - 医学
- 雑誌「Computer Graphics」の編集で貢献
- 学会活動が評価



Jose Luis Encarnacao

Coons Award **James Foley** (8. 1997年受賞) SIGGRAPH2005

- van DamらとCGの教科書(“コンピュータグラフィックス 理論と実践”)の著者
  - 6カ国の言語で翻訳
- GUIの研究
- MERLの創設者
- Graphics Visualization & Usability Centerを設立



James Foley

Coons Award **James F. Blinn** (9. 1999年受賞) SIGGRAPH2005

- LightingとSurface Modelingの研究
- 長年人気のBlinn's Cornerの著者(西田らが翻訳)
- 数々の基礎的なアルゴリズムを提案
  - バンプマッピング(1978)
  - Torrance-Sparrowモデル
  - メタボール(彼はBlobと称す)
  - 雲・土星のリング



James F. Blinn

Coons Award **Lance J. Williams** (10. 2001年受賞) SIGGRAPH2005

- 数々の基礎的なアルゴリズムを提案
  - ミップマップ法
  - シャドウマップ法(1978)
  - facial animation by image warping
  - アンチエイリアシングの新しい手法
- アニメーション製作に貢献



Lance J. Williams

Coons Award **Pat Hanrahan** (11. 2003年受賞) SIGGRAPH2005

- RenderMan Shading Languageの生みの親
  - インタラクティブなアプリケーションの製作に貢献
- 可視化の研究
  - volume rendering
  - 効果的な表現手法
  - 多次元データベースの表示
- レンダリング・ハードウェアにおいても活躍



Pat Hanrahan

Coons Award **西田 友是 Tomoyuki Nishita** (12. 2005受賞) SIGGRAPH2005

- Photorealistic Rendering
  - 相互反射 (Radiosity): 1984
  - 多数のShading model
  - Illumination Model
  - Rendering of natural phenomena
- Bezier Clipping
- CG教育への貢献
  - JavaによるWeb教材(情報処理学会表彰)
  - CG-ARTS協会 評議員
- ACM SIGGRAPH プログラム委員
- 画像電子学会 副会長
  - Visual Computing 研究会委員長
- SIGGRAPH東京 コアメンバー



Tomoyuki Nishita